



98時間

なんか映画のタイトルみたい（リーアム・ニーソン主演のアクション映画「96時間」はなかなか面白いですが…）ではあるが、一体これはなんなのかというと、ある人が9月中に勉強した時間の総計である。30日で割ると、一日およそ3時間を超える数字で、前期期末考査はあったにしろ、星陵祭もあったわけだから、なかなか立派である。ちなみに、理想は、日比谷の公式「 $Y = X + 3$ 」に当てはめて「5時間」ということになるわけだが、まあこれはあくまで「理想」…（笑）。

どうしてこんなことが分かったかというと、実はこの人は、夏休みに配布した「勉強した時間を塗りつぶす表」の9月版がほしいと申し出た人で、個人的に9月もそれを続けていたのである。そして、1ヶ月経って塗りつぶした時間を数えてみたら、98時間だったというわけだ。偉い。

*

私の主人は今年3月に早期希望退職をした。どんどん大きくなってしまふ孫の世話をもっと楽しみたいというのが主な理由で、完全にやめてしまったわけではなく、週に4日間、講師として働いているが、専任時代とは違って仕事量は少ないし、授業時間に間に合うように出かけて、授業の後始末が終われば帰宅することもできるというわけで、なかなか楽しそうである。その様子を見ながら、私もすっかり早期退職してしまいたくなっているのだが、なかなかそうもいかない。というのも、当然のことながら、それにともなって我が家の収入が激減しているからである。

そんな事情で、実は家計の見直しをしっかりとやろうと決めて、8月から夫婦それぞれの

支出記録をつけることにした。今まで割と放漫会計だったのだが（笑）、食費（家食も外食も）や交際費、服飾費、電気・水道・ガス代金などは当然として、医療費や通信費（スマホやネット費用）、ローン、クルマの維持費、保険料金など、できる限り正確に記録することにしたのである。私などは、結構電子・カメラ関係の無駄遣いが多いし、本もそれなりの金額を買ったりしているの、実はあまりこういう記録をつけたくなかった（悪事がバレる…）のであるが、背に腹は替えられないということで、かなり真面目にチャレンジしているのである。

で、やってみてどうかというと、これが結構「節約」に役立つのである。支出を一覧表にしてみる、つまり「見える化」してみると、「う～ん、●●の支出が多い」というのが実感できるわけで、「もう少し減らそうか」という気になってくるのである。そして、その結果、8月よりも9月になって●●の支出が減っていたりすると、なぜかひどく気分がよくなって、さらに節約しようという気分になってくるのである（我ながら単純だとは思いますが…）。しかし、これはダイエットの際、効果が証明されている「体重のグラフをつける」というのと同じで、やはり「見える化」「数値化」の効果なのである。

といわけで、勉強時間も「見える化」なのである。漠然と「勉強しよう」と考えるのではなく、やった時間を塗りつぶす簡単な「見える化」をしてみたらどうだろう。きっとやる気が出るに違いない。希望者には表を差し上げますから遠慮なく申し出てください。